

## 第5章 重点プロジェクト

新市は阿蘇地域の中心に位置するとともに、阿蘇地域の行政・経済の中核機能を担う地域です。このため、以下に挙げる重点プロジェクトは、新市の将来を建設するにあたり、いずれも新市にとって重要なプロジェクトであることと同時に、阿蘇地域全体の経済及び観光・文化等の振興に必要となるプロジェクトでもあります。

とりわけ、観光は21世紀の牽引する産業であることから、新市が将来像として掲げる「国際環境観光都市」の実現は、単に今後5年間の目標にとどまることなく、長期の展望のもとで一步ずつ着実に進めて、真に世界に誇れる第1級の観光資源を有する観光都市としての地位を確立しようとするものです。

住民生活に密着した生活基盤や道路、コミュニティ施設、農林畜産業の生産基盤等の整備を着実に実施するとともに、阿蘇地域全体の振興を図る観点から新市では、住民をはじめ、国・県及び関係機関とのパートナーシップのもとで、主体的に、この重点プロジェクトの実現に向けて進めていきます。

### (1) 阿蘇地域玄関口の拠点整備

阿蘇地域は、世界最大級のカルデラである国際的な自然資源を有し、年間1,900万人を超える観光客が訪れる県下最大の観光地です。観光を21世紀を牽引する産業として位置づけ我が国が観光立国を目指そうとする今日、阿蘇地域は今後、我が国の国際的な観光地のモデルとして発展していくことが強く望まれます。

阿蘇地域の中央に位置する新市は、新市の将来像を「国際環境観光都市」と掲げ、阿蘇地域はもとより熊本県の観光産業を牽引する、真に国際的な観光地を築いていくことを目指します。

このため、新市の将来を見据えた重点プロジェクトとしては、阿蘇地域の視点から、新市の波野・小園地域一帯を阿蘇地域の東部玄関口、新市の永水地区等一帯を阿蘇地域の西部玄関口として位置づけ、居住環境整備並びに地域振興、観光交流及び情報発信の拠点整備を図ります。

また、阿蘇地域の入り口として、新市では隣接する南阿蘇村・竹田市・産山村との連携協力を図り、阿蘇地域全体の地域振興を推進します。

## ( 2 ) 阿蘇地域交通拠点及びネットワークの整備

阿蘇地域全体の交通体系及び情報通信機能を高めるためには、阿蘇地域の中心に位置する新市の交通及び情報の拠点整備を進め、地域全体をネットワーク化していくことが求められます。

このため、中九州を横断する国道 57 号の 4 車線化及び JR 豊肥本線の電化と今後予定される地域高規格道路である中九州横断道路は、市域はもとより熊本 大分を結ぶ交通の大動脈であり、これらの早期実現を目指します。また、市域を縦貫する国道 212 号及び国道 265 号は、北は福岡・大分方面、南は宮崎方面へ通ずる九州脊梁を縦貫する骨格道路であり、これらの道路交通の改善、また、国道 57 号のバイパス的機能を兼ね備えた広域幹線道路の整備を推進します。このような東西及び南北の幹線道路と鉄道及びバス路線等を軸として、市域の主要な駅の交通ターミナル機能を高め、阿蘇地域の交通ネットワークの拠点整備を推進します。

また、情報通信機能については、市域の行政サービスの他、阿蘇地域全体の観光情報、交通情報や危機管理など多様な活用が求められます。このため、光ファイバーやインターネット等の情報通信整備を進め、まず市域の主要な公共施設等においてネットワーク化を図り、阿蘇地域全体の主要施設とアクセスできる阿蘇地域情報通信ネットワークの整備を推進します。

## ( 3 ) 多目的交流拠点(国際環境文化ホール(仮称))の建設推進

新市及び阿蘇地域全体の経済・文化活動を一層活性化するため、新市内及び新市と国内外との交流拠点であると同時に、新市が目指す「豊かな自然と笑顔あふれる国際環境観光都市」の確立に向け、新市が誇る世界最大級のカルデラ、神代の昔から受け継ぐ歴史・文化や自然環境と調和した暮らしをモチーフとして、世界の火山観光地、自然環境を資源とする観光地、環境と歴史、文化、芸術等を保全・継承する観光都市等における取り組み等、世界の最先端の情報を総合的に収集・発信する拠点の整備を推進します。

#### ( 4 ) 救急医療・防災施設機能の充実

平成 22 年国勢調査による新市の老年人口( 65 歳以上 )割合は、約 32% で県平均の約 26% を大きく上回っており、高齢化が進行する中、健康で安心して暮らせるまちへの希求は大きくなるばかりです。このため新市では、救急医療及び地域医療、小児救急医療等を充実するため救急総合病院の建設を目指します。

また、安全な暮らしに直結する防災機能を高めるために、施設・設備等の充実強化を目指します。

#### ( 5 ) 農産物等総合供給基地の整備推進

新市の産業経済を振興するにあたり、新市の基幹産業である農林畜産業の高付加価値化を図ります。農林畜産業によって生産される農産物等を、市域内で加工し、次に流通・販売のサービス産業につなげることで、生産物の付加価値を上げ、この産業連関に関わる加工・製造業や物流サービス業を育て、地域の雇用と経済活性化を図ります。

このため、新市では、阿蘇地域交通体系の拠点となる新市において、阿蘇地域で産出される農林畜産物を集荷し、食品加工、食肉センター等、農産物の加工・製造品を出荷する、総合供給基地の整備を推進します。